

マインドマップ (5)

マインドマップのルールの中に強調というのがあります。強調としてはシンボルイメージを描くや立体的に絵描く、飾り文字を使う、カラフルに描くなどがあります。この色と絵を使うということがマインドマップの特徴であり、より脳に焼きつくこととなります。マインドマップの本来の目的は1枚の紙の上に言葉とイメージをバランスよく表すことによって脳に浮かぶ考えを一目瞭然に表現し、想起しやすくインプットしやすいイメージ・ノートとすることです。そのためにもキーワードよりも色彩豊かなイメージを絵にすることがキーワードよりも絶対効果的です。マインドマップは右脳と左脳の両方を使うことで、脳全体のバランスを取りインプットとアウトプットを効率的に行うツールです。色や絵の重要性は特にアウトプットする際に脳にイメージを与えるために欠かせない要素になってきます。アウトプットはマインドマップを見直してから論理的に言葉にするという、脳全体の能力を駆使する作業になります。つまり、放射状に広がった右脳領域にあるイメージ(絵)が左脳領域の言葉や論理などとしっかり結びつくような、視覚を刺激するようなマインドマップのほうが記憶はより鮮明に蘇ってくるものです。このように色はマインドマップにとって重要な要素です。色を使わないと描くのは簡単になります。キーワードを書くときに色をどうしようかと考えることは慣れないと大変かもしれません。しかし色が無いと単調になってしまい、結局記憶に残らなくなってしまいます。色は考え方、感じ方に影響を与えます。色によって空間や立体感を表現し、イメージや気持ちまで表現します。コミュニケーションにおける言葉は全体の7%の役割しかしません。対話の場合、ボディランゲージや声の調子、特に表情から人ははるかに多くの事柄を翻訳してその解釈とします。プレゼンテーションする場合にも言葉ばかりを並べてしまうことが人によってあります。しかしそのプレゼンテーションは内容は多いように考えているかもしれませんが、わかりにくい印象に残らないものになってしまっています。コミュニケーション力を高めるには、色彩や形状などの視覚的な要素について造詣を深めることは欠かせないことです。色が気分や振る舞いにどのような影響を与えるかを理解することは、脳に対して脳本来の持っている言葉である「思考するときの言葉」で語り合うことができるようになるということです。

ではマインドマップに簡単に色付けできる方法はないでしょうか。それには5つの方法があります。1つ目は「道具をそろえる」です。マインドマップで色を有効に使おうとするのであれば「4色や12色などのペンセット」を使うことです。マインドマップを書く紙の周りに何本もカラーペンを並べて始めるのです。2つ目は「テーマによって色を使い分ける」です。3つ目が「ブランチの位置によって色を使い分ける」です。例えばメインブランチごとに色を変えたり、サブブランチを最初のアイデアから枝分かれしたことをわかるように色をつけたりします。4つ目が「情報源によって色分けする」です。本などからアイデアを引用する場合それがわかるようにします。5つ目が「キーワードによって色を使い分ける」です。キーワードと分かる特別の色にしたり、蛍光ペンなどで目立つようにします。

しかし色を使うのもやはり感覚が必要です。しかしうまくいかないと言ってあきらめる必要はありません。配色にある基本ルールを知ることによってごちゃごちゃしたイメージになることを避けることができます。それが色の構成を決める基本ルールであり、カラーコーディネートです。(次回へ続く)

(今週の情報誌から)

○日経エレクトロニクス 8月11日号

特集 iPhoneふたつの顔

→iPhone 3Gが発売となった。日本で発売とならなかったiPhoneは単なる高機能携帯電話でしかなかったが、今度の3Gは、ユーザーがアプリケーションをインストールして使うことのできるプラットフォームの顔がある。当初はOSがMacのOSXの流れをくむものであることは分かっていたが利用することはできなかった。これを打ち破ったのが「ハッカー」であり、1年たって汎用プラットフォームとしての提供されることになった。

○日経パソコン 8月11日号

特集 オンラインストレージの“住み心地”

→いつでも、どこでも、気軽にインターネット環境があれば使えるオンラインストレージ。ただで使える大容量もある。使い道としてはファイルのバックアップ、大容量ファイルのやり取り、家族や仲間との写真データの共有など、実際どうしたら使えるかの基本からそれぞれの使い方まで。

特集 ブラウザ三刀流

→ブラウザはIEだけという人がほとんどと思うが、いろいろなブラウザがあり、2chなどは専用のももある。使う物に応じて使い分けてみればどうだろう。